

単元名：

反比例の利用

～電子レンジで温める時間は？～

(全4時間扱い中 第3時)

授業日時 令和3年10月21日(木)第6校時

授業学級 1年E組

授業会場 1年E組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

表、式、グラフを用いて、2つの数量が反比例の関係であると見なし、加熱時間を求めることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：電子レンジのワット数と加熱時間からどのようにして800Wでの加熱時間を求めればよいかを考える。
- ・活動：ワット数と時間の関係性を調べ、特定のワット数に対する加熱時間を求める。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 商品の電子レンジのワット数と時間の場面を提示し、場面を理解する。	○「このワット数の場合、いくつに時間を設定すればよいでしょうか。」 ◇これから求めたいものを整理していく。	5
	【学習問題】加熱時間をどのようにして求めればよいだろう。		
	2. 求めるための見通しや必要なものを考える。	○「どうしたら加熱時間を求められますか。」 ◇ワット数と加熱時間の関係に意識を向ける。	10
【学習課題】ワット数と加熱時間の関係性を調べ、加熱時間を求めよう。			
展開	3. 式、グラフ、表を用い、ワット数と加熱時間の関係を調べる。	○「電子レンジのワット数と加熱時間の関係を調べ、800Wでの加熱時間を求めましょう。」 ◇式、グラフ、表から2つの数量が反比例の関係であるかどうかを調べ、800Wでの加熱時間を求める。 ◇調べ方を黒板に書いてもらおうか発表してもらおう。	15
	4. 本時のまとめを行う。	◇反比例と見なした意見と見なさなかった意見を基にどのようにして問題を解いていくかを考えさせる。 ○「ワット数と加熱時間の関係は多少のズレはあるものの反比例の関係であると見なすことができます。」  【評価】表、式、グラフを用いて2つの数量は反比例であることを見なし、800Wでの加熱時間を求められる。(授業観察、ワークシート)	10
終末	5. 本時の振り返りを行う。	○「今日の授業で分かったこと、考えたことを書きましよう。」	5